

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和5年10月23日(2023.10.23)

【公開番号】特開2023-91028(P2023-91028A)

【公開日】令和5年6月29日(2023.6.29)

【年通号数】公開公報(特許)2023-121

【出願番号】特願2023-79101(P2023-79101)

【国際特許分類】

G 02 B 13/00(2006.01)

10

G 02 B 13/18(2006.01)

G 02 B 13/04(2006.01)

G 02 B 15/20(2006.01)

【F I】

G 02 B 13/00

G 02 B 13/18

G 02 B 13/04

G 02 B 15/20

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年10月12日(2023.10.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の条件式を満足するレンズを有する光学系。

$1.8650 < n_{dLZ} + (0.00495 \times d_{LZ}) < 1.9200$

30

$35.0 < d_{LZ} < 40.0$

$g_{FLZ} + (0.00316 \times d_{LZ}) < 0.7010$

但し、 n_{dLZ} ：前記レンズのd線に対する屈折率

d_{LZ} ：前記レンズのd線を基準とするアッベ数

g_{FLZ} ：前記レンズの部分分散比であり、前記レンズのg線に対する屈折率を n_{gLZ} とし、前記レンズのF線に対する屈折率を n_{FLZ} とし、前記レンズのC線に対する屈折率を n_{CLZ} としたとき、次式で定義される

$g_{FLZ} = (n_{gLZ} - n_{FLZ}) / (n_{FLZ} - n_{CLZ})$

【請求項2】

前記レンズは、以下の条件式を満足する請求項1に記載の光学系。

40

$1.660 < n_{dLZ} < 1.750$

【請求項3】

前記レンズは、以下の条件式を満足する請求項1又は2に記載の光学系。

$1.670 < n_{dLZ} < 1.710$

【請求項4】

前記レンズは、以下の条件式を満足する請求項1～3のいずれか一項に記載の光学系。

$36.0 < d_{LZ} < 38.2$

【請求項5】

前記レンズは、負レンズである請求項1～4のいずれか一項に記載の光学系。

【請求項6】

50

前記光学系は、合焦時に光軸に沿って移動可能なレンズ群を有し、

前記レンズが前記レンズ群に含まれる請求項1～5のいずれか一項に記載の光学系。

【請求項7】

前記レンズは、ガラスレンズである請求項1～6のいずれか一項に記載の光学系。

【請求項8】

前記光学系は、開口絞りを有し、

前記レンズが前記開口絞りの近傍に配置される請求項1～7のいずれか一項に記載の光学系。

【請求項9】

前記レンズは、接合レンズを構成するレンズである請求項1～8のいずれか一項に記載の光学系。 10

【請求項10】

請求項1～9のいずれか一項に記載の光学系を備えて構成される光学機器。